



冬季に流行する感染症について



☆児童デイサービスきらきらの基準、対応について☆

インフルエンザの集団発生及び、ノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎等につきましては、毎年冬季に増加する傾向があります。

特に学校や社会福祉施設等の集団施設においては、集団感染の発生が懸念されます。

インフルエンザは感染力が強く、利用者様や職員等に急速に拡大する恐れがあり、高齢者や子ども等の抵抗力が弱い方が感染した場合には重症化する可能性が高いとされています。

きらきらでも例年通り予防対策、まん延防止に努めて参ります。

つきましては再度ご確認として以下の項目を掲載させていただきます。

・インフルエンザを始め各感染症等が発症した場合は学校保健法に則った二次感染を防ぐため、通所の制限が発生します。(制限は発症した感染症により異なります)

・なおご兄弟の感染が明らかでない場合も、原則通所をお控え願います。緊急性の高い場合ややむを得ない場合は要相談となります。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。